

平成18年度（第35回）

# 情報処理検定試験

## 〈ビジネス情報部門〉

### 第1級 筆記試験問題

#### 注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 6 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会



【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. ある金融機関で、年利率0.9% 1か月複利 毎月末に ¥50,000 を積み立てた場合、3年間の満期額を求める次の式の空欄にあてはまる式または数値を答えなさい。

=ROUNDDOWN(FV(0.9%/12, , -50000, 0, 0), 0)

問2. 取得原価 ¥750,000 残存価額が取得原価の10%の備品を年1回減価償却する場合、減価償却額を求める次の式の説明として適切なものを選び、記号で答えなさい。

=DB(750000, 75000, 10, 3)

- ア. 残存価額が ¥75,000 耐用年数10年 定額法で求めた第3期目の減価償却額
- イ. 残存価額が ¥75,000 耐用年数3年 定額法で求めた減価償却額
- ウ. 残存価額が ¥75,000 耐用年数10年 定率法で求めた第3期目の減価償却額

問3. ある会社では、会議室の使用時間を次の表を用いて管理している。使用開始時刻および終了時刻は、毎時0分、15分、30分、45分としている。

「使用開始時刻」は、「入室時刻」を15分単位で切り捨て、「使用終了時刻」は、「退室時刻」を15分単位で切り上げたものである。「使用時間」は、「使用終了時刻」から「使用開始時刻」を引いて求めている。G5に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

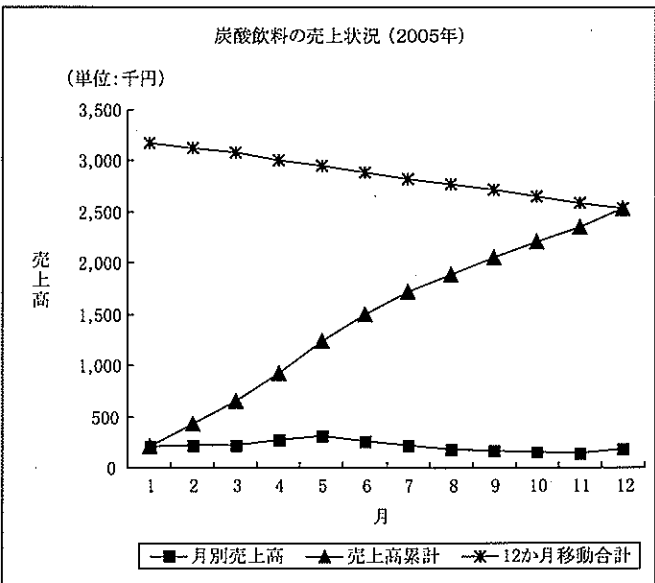
	A	B	C	D	E	F	G	H
1	会議室使用時間管理表							
2	日付	入室時刻	使用開始時刻	退室時刻	使用終了時刻	使用時間		
3		時 分	時 分	時 分	時 分			
4	9/15	8 25	8:15	17 30	17:30	9:15		
5	9/16	8 34	8:30	17 36	17:45	9:15		
6	9/17	8 45	8:45	16 48	17:00	8:15		
7	9/18	9 10	9:00	17 10	17:15	8:15		
8	9/19	9 55	9:45	16 29	16:30	6:45		
9								

=IF(MOD(F5, 15)=0, TIME(E5, F5, 0), IF(INT(F5/15)<3, TIME(E5, , 0), TIME(E5+1, 0, 0)))

- ア. (INT(F5/15)+1)\*15
- イ. INT(F5/15)\*15
- ウ. (INT(F5/15)-1)\*15

問4. 次の表とグラフは、ある商店の2004～2005年における炭酸飲料の売り上げについて集計したものである。次の(1), (2)に答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	炭酸飲料売上集計表 (単位:千円)										
2	年	月	月別売上高	売上高累計	12か月移動合計						
3	2004	1	240	240							
4		2	262	502							
5		3	274	776							
6		4	348	1,124							
7		5	365	1,489							
8		6	320	1,809							
9		7	285	2,094							
10		8	228	2,322							
11		9	217	2,539							
12		10	228	2,767							
13		11	205	2,972							
14		12	228	3,200							
15	2005	1	210	210	3,170						
16		2	221	431	3,129						
17		3	226	657	3,081						
18		4	273	930	3,006						
19		5	309	1,239	2,950						
20		6	254	1,493	2,884						
21		7	219	1,712	2,818						
22		8	178	1,890	2,768						
23		9	167	2,057	2,718						
24		10	159	2,216	2,649						
25		11	145	2,361	2,589						
26		12	180	2,541	2,541						
27											



(1) D列の「売上高累計」は、各年の1月からの累計、E列の「12か月移動合計」は、過去12か月分の合計を求めている。D4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をD15までコピーするものとする。

- ア. =SUM(C4:C15)
- イ. =SUM(C\$4:C4)
- ウ. =SUM(\$C4:C4)

(2) このグラフの傾向分析として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 増加傾向
- イ. 停滞傾向
- ウ. 減少傾向

【5】 次の表は、東京都内のある宅配業者の料金計算表である。処理条件にしたがって、各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、問5については数値を答えなさい。

シート名「計算表」

	A	B	C	D	E	F
1	宅配料金計算表					
2		重量	20	kg		
3		縦	30	cm		
4		横	60	cm		
5		高さ	20	cm		
6		種別	0			
7		条件チェック	OK			
8		配送先地域コード	5		基本料金	1,700 円
9		冷凍便希望	1		冷凍便料金	640 円
10		用品コード	BX		包装用品料金	150 円
11					合計料金	2,490 円
12						
13						

シート名「一般料金表」

	A	B	C	D	E	F	G	H	
1	一般料金表								
2		配送先地域コード							
3		0	1	2	3	4	5	6	
4	三辺の合計	0	600	700	800	900	1,000	1,100	1,200
5		60	800	900	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400
6		80	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600
7		100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800
8		120	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000
9		140	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200
10		160	1,700	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400
11									

(注) A5の0は、0以上60未満を示している。

シート名「冷凍便料金表」

	A	B	C
1	冷凍便料金表		
2	重量(kg)		料金
3	0以上4未満		190
4	4以上8未満		340
5	8以上30以下		640
6			

シート名「包装用品料金表」

	A	B	C
1	包装用品料金表		
2	用品名	用品コード	料金
3	箱	BX	150
4	袋	BG	250
5	スキー	SK	300
6	ゴルフ	GF	500
7			

シート名「スキー・ゴルフ料金表」

	A	B	C	D	E	F	G	H	
1	スキー・ゴルフ料金表								
2		配送先地域コード							
3		0	1	2	3	4	5	6	
4	三辺の合計	0	600	700	800	900	1,000	1,100	1,200
5		60	800	900	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400
6		80	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600
7		100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800
8		120	1,350	1,350	1,550	1,750	1,850	2,350	2,450
9									

(注) A5の0は、0以上60未満を示している。

### 処理条件

- シート名「計算表」のB4～B8, B10～B12に適切なデータを順に入力すると、1個あたりの宅配料金を求めることができる。
- シート名「計算表」は、次のように作成されている。
  - B4の「重量」は、宅配物の重量(kg)を入力する。
  - B5～B7は、宅配物の縦・横・高さの長さ(cm)を入力する。
  - B8の「種別」は、宅配物がスキーかゴルフの場合は1を、それ以外の場合は0を入力する。
  - E8の「条件チェック」は、B4～B8に1つでもデータの入力がない場合は「未入力」を表示し、B4～B8に下記の条件①, ②のいずれかを満たすデータが入力された場合は「OK」、それ以外の場合は「NG」を表示する。
    - B8の「種別」が0の場合は、B4の「重量」が30kg以下で、B5～B7の合計(三辺の合計)が170cm以下のもの。
    - B8の「種別」が1の場合は、B4の「重量」が30kg以下のもの。
  - B10の「配送先地域コード」は、次の表の「地域コード」を入力する。

地域コード	配送先地域
0	東京都内
1	東北・関東・甲信越・東海・北陸
2	近畿
3	中国・四国
4	北海道
5	九州
6	沖縄

- E10の「基本料金」は、B5～B7の合計, B8の「種別」, B10の「配送先地域コード」をもとにシート名「一般料金表」または「スキー・ゴルフ料金表」を参照して表示する。ただし、E8が「未入力」か「NG」または、B10が空欄の場合は0を表示する。
- B11の「冷凍便希望」は、冷凍便を希望する場合のみ1を入力する。
- E11の「冷凍便料金」は、B11が1の場合は、B4の「重量」をもとに、シート名「冷凍便料金表」を参照して表示する。ただし、下記の条件①, ②のいずれかにあてはまるデータが入力された場合は「NG」を表示する。また、B11が空欄の場合は0を表示する。
  - B8の「種別」が0の場合は、B5～B7の合計が140cmを超えるもの。
  - B8の「種別」が1のもの。
- B12の「用品コード」は、包装用品を購入する場合のみ、シート名「包装用品料金表」の「用品コード」を入力する。ただし、大型サイズの包装用品を購入する場合は、「用品コード」の右端にLを追加して入力する。
- E12の「包装用品料金」は、包装用品を購入する場合は、B12の「用品コード」をもとに、シート名「包装用品料金表」を参照して表示する。ただし、「用品コード」の右端がLの場合は、包装用品料金は20%増しである。また、B12が空欄の場合は0を表示する。
- E13の「合計料金」は、基本料金, 冷凍便料金および包装用品料金の合計を求める。



- 【6】 ある市民学習センターでは、登録している団体への学習施設の貸し出しを次のようなリレーショナル型データベースを利用して管理している。次の各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。  
なお、貸し出しは一日単位でのみ受け付けている。

団体表

団体コード	団体名	代表者名	連絡先	人数
C1001	クラブ台町青年コーラス	飯野 ○○	042-622-XXXX	20
C1002	寺町書道会	田中 ○○	042-529-XXXX	50
C1003	片倉工芸クラブ	藤井 ○○	03-3749-XXXX	18
C1004	緑町囲碁同好会	中村 ○○	090-3201-XXXX	60
C1005	シニア写真クラブみなみ野	山内 ○○	042-620-XXXX	36
C1006	富士森の自然研究会	後藤 ○○	045-268-XXXX	21
C1007	大和田茶道会	池上 ○○	080-9123-XXXX	40
C1008	浅川中国文化研究会	佐藤 ○○	050-2531-XXXX	87
}	}	}	}	}

貸出予約表

予約番号	団体コード	施設コード	利用日
}	}	}	}
537	C1004	R23	060928
538	C1006	R21	060926
539	C1008	R22	060930
540	C1001	R32	060926
541	C1007	R23	060926
542	C1003	R33	060926
543	C1005	R22	061001
544	C1001	R32	061010
}	}	}	}

施設表

施設コード	施設名
R11	大ホール
R21	第1研修室
R22	第2研修室
R23	和室
R31	美術室
R32	音楽室
R33	工房
R34	調理室
R41	多目的室
R42	パソコン室

(注) 貸出予約表の「利用日」は、6けたの文字を用いる。

例：'060926' は2006年9月26日を表す。

問1. 新規の団体を団体表に追加登録する場合、空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。

〔登録内容〕 団体コード : C1053  
 団体名 : 上野町野鳥倶楽部  
 代表者名 : 渡部 ○○  
 連絡先 : 048-706-XXXX  
 人数 : 8

(a)  団体表  (b)  ('C1053', '上野町野鳥倶楽部', '渡部 ○○', '048-706-XXXX', 8)

- ア. (a) UPDATE (b) SET  
 イ. (a) INSERT INTO (b) SET  
 ウ. (a) INSERT INTO (b) VALUES

問2. 2006年9月26日における利用状況一覧を、施設コードの昇順になるようにすべて抽出する場合、空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。

施設コード	施設名	団体名	代表者名	人数
R21	第1研修室	富士森の自然研究会	後藤 ○○	21
R23	和室	大和田茶道会	池上 ○○	40
R32	音楽室	クラブ台町青年コーラス	飯野 ○○	20
R33	工房	片倉工芸クラブ	藤井 ○○	18
}	}	}	}	}

```
SELECT 施設表.施設コード,施設名,団体名,代表者名,人数
FROM 団体表,施設表,貸出予約表
WHERE 団体表.団体コード = 貸出予約表.団体コード
      AND 施設表.施設コード = 貸出予約表.施設コード
      AND 利用日 = '060926' [ (a) ] 施設コード [ (b) ]
```

- ア. (a) GROUP BY                      (b) DESC  
 イ. (a) ORDER BY                      (b) ASC  
 ウ. (a) ORDER BY                      (b) DESC

問3. 2006年9月1日から2006年9月30日の間に、和室を予約した団体名を求める場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

```
SELECT 団体名
FROM 団体表
WHERE 団体コード [ ] (SELECT 団体コード
                        FROM 貸出予約表
                        WHERE 施設コード = 'R23'
                        AND 利用日 BETWEEN '060901' AND '060930')
```

- ア. IN                                      イ. AND                                      ウ. AS

問4. 次のSQL文の実行によって抽出された団体名に含まれるものとして、適切なものを答えなさい。

```
SELECT 団体名
FROM 団体表
WHERE 団体名 LIKE '%クラブ'
```

- ア. クラブ台町青年コーラス  
 イ. 片倉工芸クラブ  
 ウ. シニア写真クラブみなみ野

問5. 次のSQL文のうち、参照整合性に反することなく実行できるものとして、適切なものを答えなさい。

- ア. DELETE FROM 団体表 WHERE 団体コード = 'C1008'  
 イ. DELETE FROM 貸出予約表 WHERE 予約番号 = 539  
 ウ. DELETE FROM 施設表 WHERE 施設コード = 'R22'

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成18年度 (第35回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記  
解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【3】

1	2	3	4	5

【4】

問1	問2	問3	問4	
			(1)	(2)

【5】

問1	問2	問3	問4	問5
				円

【6】

問1	問2	問3	問4	問5

試験場校名	受験番号

得点合計

# 平成18年度 (第35回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記 審査基準

【1】

1	2	3	4	5
サ	カ	イ	キ	ケ

各2点  
計10点

【2】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ア	ク	シ	ウ	エ

各2点  
計10点

【3】

1	2	3	4	5
ア	ウ	イ	ア	ウ

各4点  
計20点

【4】

問1	問2	問3	問4	
			(1)	(2)
3*12	ウ	ア	イ	ウ

各4点  
計20点

※「36」の数値も可。

【5】

問1	問2	問3	問4	問5
イ	ウ	ア	ウ	2,210 円

各4点  
計20点

※「,」なし可。

【6】

問1	問2	問3	問4	問5
ウ	イ	ア	イ	イ

各4点  
計20点

試験場校名	受験番号

得点合計
100

2006年 9 月24日実施

平成18年度（第35回）

情報処理検定試験  
〈ビジネス情報部門〉  
第1級 実技試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート4のA1のセルに受験番号を入力してください。
3. 試験問題は2ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は30分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

ある会社では、夏期に海水浴場で駐車場の営業をしている。昨年の現金収支表から、今年の実績売上増減率を考慮して、営業利益を3%増加させるための営業利益計画書を作成することになった。処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印の部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計・分析機能などを利用して作成すること。また、シート4のA1のセルに受験番号が入力されているか確認しなさい。

資料1 摘要コード表

コード	摘要
11M	売上普通車美浜
11S	売上普通車白浜
12M	売上大型車美浜
12S	売上大型車白浜
21M	営業費美浜
21S	営業費白浜

資料2 現金収支表

月	日	曜	コード	摘要	収入	支出
7	16	日	11S	売上普通車白浜	138,000	
7	16	日	12S	売上大型車白浜	32,000	
7	16	日	11M	売上普通車美浜	112,500	
7	16	日	12M	売上大型車美浜	28,000	
{	}	}	}	}	}	}
8	31	木	11S	売上普通車白浜	27,000	
8	31	木	12S	売上大型車白浜	8,000	
8	31	木	21S	営業費白浜		518,000
8	31	木	11M	売上普通車美浜	18,500	
8	31	木	12M	売上大型車美浜	8,000	
8	31	木	21M	営業費美浜		336,000

資料3 今年の予想売上増減率

	普通車	大型車
増減率	5%	-10%

## 処理条件

- 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。  
設定する書式：罫線、列幅、数値につける3けたごとのコンマ
- シート1は、次のように作成する。  
B列の「摘要」の※印の部分は、資料1のデータを入力する。なお、コードは半角英数字である。
- シート2は、次のように作成する。
  - 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。
  - E列の「摘要」の※※印の部分は、D列の「コード」をもとにシート1の「摘要コード表」を参照して表示する。
- シート3は集計作業用シートで、次のように作成する。
  - シート2をコピーして、シート3に貼り付ける。
  - D列の「コード」を基準として、昇順に並べ替える。
  - アプリケーションソフトのグループ集計機能を利用して、E列の「摘要」をグループの基準として、F列の「収入」とG列の「支出」を集計する。
- シート4は、次のように作成する。
  - 「1. 昨年の収支計算表」は、次のように作成する。
    - C7~D8の「売上」は、シート3のF列の「収入」から必要な部分をコピーして、値を貼り付ける。
    - E列の「営業収益」は、C~D列の合計を求める。
    - F7~F8の「営業費用」は、シート3のG列の「支出」から必要な部分をコピーして、値を貼り付ける。
    - G列の「営業利益」は、「営業収益 - 営業費用」の式で求める。
    - 9行目の「合計」は、7~8行目の合計を求める。
  - 「2. 今年の予想売上増減率」の※印の部分は、資料3のデータを入力する。ただし、%表示で整数部のみ表示する。
  - 「3. 今年の予想収支計算表」は、次のように作成する。
    - C18~D19の「売上」は、「1. 昨年の収支計算表」の売上を、「2. 今年の予想売上増減率」の増減率で増減させた値を求める。
    - E列の「営業収益」は、C~D列の合計を求める。
    - G列の「営業利益」は、「営業収益 - 営業費用」の式で求める。
    - F18の「営業費用」は、駐車場ごとにG18の「営業利益」がG7の「営業利益」を3%増加させた値以上で、最大になるようにアプリケーションソフトのデータ分析機能を利用して求める。  
F18の設定例 目的セル：F18 目標値：最大値 変化させるセル：F18  
制約条件：G18はG7の1.03倍以上、F18は整数
    - F19の「営業費用」は、F18の「営業費用」と同様に求める。
    - 20行目の「合計」は、18~19行目の合計を求める。
    - F22は、「1. 昨年の収支計算表」と「3. 今年の予想収支計算表」の営業費用の合計の差を求める。
- グラフは、「1. 昨年の収支計算表」と「3. 今年の予想収支計算表」から作成する。
  - グラフの※※印の部分は、表に入力された数値を表示する。
  - 売上割合の数値軸は、目盛りの最小値(0%)、最大値(100%)および間隔(10%)を設定する。
  - 凡例の位置を設定する。
- シート4を報告書として印刷する。

	A	B
1		
2	摘要コード表	
3	コード	摘要
4	11M	※
5	11S	※
6	12M	※
7	12S	※
8	21M	※
9	21S	※

(シート 1)

	A	B	C	D	E	F	G
1	現金収支表						
2	月	日	曜	コード	摘要	収入	支出
3	7	16	日	11S	※※	138,000	
4	7	16	日	12S	※※	32,000	
5	7	16	日	11M	※※	112,500	
6	7	16	日	12M	※※	28,000	
7	7	16	日				
8	8	31	木	11S	※※	27,000	
9	8	31	木	12S	※※	8,000	
10	8	31	木	21S	※※		518,000
11	8	31	木	11M	※※	18,500	
12	8	31	木	12M	※※	8,000	
13	8	31	木	21M	※※		336,000

(シート 2)

	A	B	C	D	E	F	G
1	現金収支表						
2	月	日	曜	コード	摘要	収入	支出
3	5	1			売上普通車美浜 集計	※※	※※
4	5	1			売上普通車白浜 集計	※※	※※
5	5	1			売上大型車美浜 集計	638,000	※※
6	5	1			売上大型車白浜 集計	※※	0
7	5	1			営業費美浜 集計	※※	※※
8	5	1			営業費白浜 集計	※※	※※
9	5	1			総計	※※	※※

(シート 3)

	A	B	C	D	E	F	G	
1	駐車場の営業利益計画書							
2								
3								
4	1. 昨年の収支計算表							
5	駐車場名	売上		営業収益	営業費用	営業利益		
6		普通車	大型車					
7	美浜	※※	※※	※※	※※	※※		
8	白浜	※※	1,022,000	※※	※※	※※		
9	合計	※※	※※	6,714,000	2,898,000	※※		
10								
11	2. 今年の子想売上増減率							
12		普通車	大型車					
13	増減率	※	※					
14								
15	3. 今年の子想収支計算表							
16	駐車場名	売上		営業収益	営業費用	営業利益		
17		普通車	大型車					
18	美浜	※※	※※	※※	※※	※※		
19	白浜	※※	919,800	※※	※※	※※		
20	合計	※※	※※	※※	※※	※※		
21								
22	営業利益を3%増加させるためには、営業費用を <input type="text" value="※※"/> 円削減する。							
23								
24	売上割合の比較							
25								
26								
27								
28	昨年	※※				※※		
29								
30	今年	※※				※※		
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								

(シート 4)

試験場校名	受験番号

得点合計

# 平成18年度 (第35回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 実技 審査基準

	A	B	C	D	E	F	G
--	---	---	---	---	---	---	---

駐車場の営業利益計画書

1. 昨年の収支計算表

駐車場名	売上		営業収益	営業費用	営業利益
	普通車	大型車			
美浜	2,072,000	638,000	2,710,000	1,155,000	1,555,000
白浜	2,982,000	1,022,000	4,004,000	1,743,000	2,261,000
合計	5,054,000	1,660,000	6,714,000	2,898,000	3,816,000

2. 今年の予想売上増減率

	普通車	大型車
増減率	5%	-10%

3. 今年の予想収支計算表

駐車場名	売上		営業収益	営業費用	営業利益
	普通車	大型車			
美浜	2,175,600	574,200	2,749,800	1,148,150	1,601,650
白浜	3,131,100	919,800	4,050,900	1,722,070	2,328,830
合計	5,306,700	1,494,000	6,800,700	2,870,220	3,930,480

営業利益を3%増加させるためには、営業費用を 27,780円削減する。

### 売上割合の比較

年次	普通車 (普通車)	大型車 (大型車)	合計
昨年	3,392,000	1,660,000	5,054,000
今年	3,812,700	1,494,000	5,306,700

配点 ①表の作成 ( )の箇所) ..... 5点×12箇所=60点  
 注 罫線は含まない。数値は3けたごとにコンマをつける。

②罫線 1. 昨年の収支計算表 ..... 5点×1箇所=5点

③グラフの作成 ( )の箇所) ..... 5点×7箇所=35点  
 注 目盛りは、最小値(0%)、最大値(100%)および間隔(10%)が正しく設定されていること。  
 凡例は、位置、順序、文字が正しく設定されていること。  
 項目軸ラベルは、順序、方向、文字が正しく設定されていること。  
 データラベルは、正しい値が表示されていること。  
 区分線は、表示されていること。

※ 審査にあたっては、「審査上の注意事項」をあわせて参照してください。